

松阪市 市営住宅のあり方市民討議会 アンケート結果一覧

平成26年10月18日開催

アンケート回収状況		
参加者数	回収枚数	回収率
63人	38人	60%



Q1：性別・ご年齢などについて教えてください。

お住まい

松阪市内	三重県内	その他	※その他の内容	無回答
27人	5人	3人	大阪府、愛知県	3人

年代

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～	無回答
0人	3人	5人	8人	18人	2人	2人	0人

性別

男性	女性	無回答
25人	11人	2人

職業

学生	会社員	自営業	公務員	議会関係	その他	無回答
0人	5人	2人	22人	5人	2人	2人

住居

持ち家	借家	市営住宅	市営住宅以外の公営住宅	その他	無回答
18人	6人	4人	0人	1人	9人

Q2：施設仕分けシンポジウムことを、どのようにお知りになりましたか（複数回答有）

広報まつさか	ホームページ	テレビ	新聞	チラシ	その他	※その他の記入内容	無回答
5人	11人	1人	1人	13人	11人	Facebook、構想日本、市からの案内	2人

Q3：市営住宅を対象に討議会を開催したことについてどう感じましたか。

意義がある	意義がない	どちらでもない	無回答
36人	0人	1人	1人

◎理由

意義がある

- 誠実に市営住宅について考えていることが伝わり、実際に市営住宅に住む方の気持ちも聞け、市営住宅について深く考える機会をいただいた。
- 市営住宅に住まれている方々は、中高齢者が多く、今まで働いてこられた方々であり快適に居住していただきたい。その為にも討議会を開催し今後のあり方を検討する事は意義がある。
- 市営住宅の現状を把握できた。ディベーターは市営住宅のマネジメントへの反対意見が多いと思っていたが、そうではなかったのが意外。
- 行政側が市営住宅について、どんな考えを持っているのか。今後、古い住宅についてのあり方について知りたかった。
- 市民の中の意見を聞く機会がなかった。
- 基本的なことを知ることができた。色々な立場の方の意見を聞くことができた。
- 行政のすべきこと（皆の税金をどう使うのか）は、この件に限らずもっと議論されるべき。
- 施設仕分けの現状が市民に公開され今後のあり方に市民の理解が得られやすい。
- 資料も事前に公開され、ネット中継も良い。
- 討議会というより市の説明・考えに対して意見をもらうという説明会、市民に市の考えをPRするという意味では良い。
- 公営住宅すべてに関することだが顕在化している問題がある中で早い段階で行政だけでなく市民等の考え方を知ることは柔軟な対応をしていく上で重要である。
- 市営住宅の現状について多くの人と共有できた。多くの意見を聞いて良かった。
- 行政と市民の意見交換の良い場であると思う。
- 滞納問題や老朽化問題など、様々な課題を抱えている市営住宅なので、今回、市民を交えての討議会は意味があります。
- 市民、行政等の合意を得るためには必要。問題点の把握と対処をするためにも。
- 意義はあるが5～10年前からこのような討議が必要であった。
- 市民の方がたくさん発言して良かった。
- 市営住宅について考えるきっかけを得られた。
- 一方通行でないから
- 少子化対策に有効

どちらでもない

- 大きな方向性について出た意見は概ね同意だが、少し誘導しすぎかなと感じた。

Q4：市営住宅の管理運営、維持保全には経費がかかります。今後、限られた財源の中で住民サービスの向上を図るためには、施設の有効活用や維持管理コストの縮減など、公共施設マネジメント（公共施設の適正化）に取り組む必要があると思いますか。

必要だと思う	どちらかという必要だと思う	あまり必要でない	必要ない	なんとも言えない	無回答
35人	0人	0人	0人	1人	2人

◎理由

必要だと思う

- 税金を使う以上は、人権に配慮しつつも効果的にコスト削減は必須だと思う。
- 小黒田団地は2/3しか居住されていないことを知っている。入居しない理由を見つけ入居できるような工夫をすることが大切。駐車場があるが駐車料金を支払ってもらったらどうか。
- 人材・施設を含め、学校の統廃合が進んでくるので、いろんな活用方法を考えながら広く意見を聞きながらどんどん進めてほしい。
- 民間の賃貸が供給過剰な中で、現在の施設にメンテナンス費用をかける必要はないと思う。
- 入居率の悪い団地・古すぎる建物は壊すべきだと思う。入居者は空いている市営住宅に移転してもらうなどして、取り壊した場所に民間でアパート等を建築して、それを市が借り上げる等
- 住民を巻き込んだ改善を望みます。
- 空き家対策と滞納対策は急務
- 民間のアイデアをもっと活用すべき
- かかったコストの分だけ利用者の満足度につながっているのか疑問。低家賃であっても利用しづらいとか安心・安全な暮らしができなくてはコストをかける意味もないのでは。
- 量を供給する時代は既に終わっている。限られた財源の中でサービス・質の向上の確保も必要でありこのためにマネジメントに力を入れる必要がある。
- 空きアパートが多い中、市が所有物として建物を持つ必要性は低いと思う。市が必要なだけアパートを借りて安く貸せば良いと思う。
- どの自治体にも差し迫った問題だと思う。
- 双方の納得を得たものから実行していく。すべて良しとはいかなくても。
- 将来的にも維持管理を希望するが、維持に見合った家賃にすべき
- 少子化対策に有効

なんとも言えない

- お金の面から見ていることが多い、住まいは人権でありどう保障するのかという点が抜けている。
- 市営住宅の住民との合意
- 今後の公営住宅を増やす方策はみえない。

Q5：市営住宅について、廃止、統合などの合理化を検討する必要があると思いますか。

必要だと思う	どちらかという必要だと思う	あまり必要でない	必要ない	なんとも言えない	無回答
31人	3人	0人	1人	0人	3人

◎理由

必要だと思う

- 早急にすべき
- トイレの水洗化等修繕に費用がより多くかかるようであれば廃止と統合を検討すべき
- 福祉と観光への転用も考えるべき
- 古いものは処分する事が必要
- 施設が古いからニーズがないという理由も考えられるが、明らかに供給過剰であり、整理が必要
- 合理化をして、古い住宅は危険なので廃止すべき
- 空き家を上手く利用してほしい
- 住むところの確保は必要であるが、すべて公共で作って管理することは必要ではない。空き家が増えている中で新築という形でない住宅の提供を考えられないか。
- 今後人口減少が進むのが目に見えている、コンパクトシティー化を計画的に今から進めていくべき。
- 民間活用をもっとしてリフォームや住宅以外の利用を進める。
- 官のコスト削減、生活環境の向上のため
- 税金を使っている以上は合理的に検討することは必要である。ただ、廃止・統合だけでなく延命措置等に視点を向けるのも必要である。
- ランニングコストが高すぎる、効率的にすべき
- 管理運営上必要だと思う。
- 統合に関してはある程度仕方がない
- 譲渡問題はこれまでの家賃合計を含めて当時の建設金額を考慮して決める必要がある。

どちらかという必要だと思う

- セーフティーネットとしての確保は必要

Q6：Q5で合理化を検討することについて、「必要だと思う」「どちらかという必要だと思う」とお答えいただいた方にお伺いします。こういった取り組みが必要又は有効だと思われませんか。（複数回答有）

市営住宅は必要ない	市営住宅はもっと増やすべき	市営住宅はもっと減らすべき	老朽化した市営住宅を市が計画的に建替える	市営住宅の家賃をもっと高くする
2人	0人	14人	7人	2人
市営住宅の家賃をもっと安くする	民間事業者などに市営住宅の運営管理を委託し、コスト削減を図る		民間アパート等を市が借り上げ、市営住宅として提供する	
0人	23人		15人	
民間アパート等に居住の低所得者に家賃補助を行う		低所得者に低家賃で住宅を提供している民間アパート等の家主等に補助を行う		その他
15人		12人		3人

◎理由

その他

- 現に住んでいる人への対応だけでなく、新規に必要な出た人へのセーフティーネットとしての機能
- 住宅以外の活用を進める

Q7：その他、ご意見・ご感想を自由にお書きください。

◎理由

- 行政が時間と労力をかけて誠実に市民と向き合われている松阪市民がうらやましいです。貴重な機会をいただきありがとうございました。
- 鈴鹿市では市営住宅の建て替えは中止しました。笹川団地の様に半数が外国人児童のようなことになり、なるべく団地対応はやめるべき。
- 説明の中で市の住宅に関するコストは2億円ということでしたが、人件費を必ず入れて話すべき
- 他の事例でもぜひ
- 有意義な討議会であった。教育集会所のあり方も検討して欲しい。
- 必要な団地と必要でない団地がある。しっかりと住民と考えること。入居者を守る事を考えていながら市と市民の役割を作っていく。
- 障がい者のために活用できないのか。
- 民間アパートの活用はメリットがある一方、これまでより多くの方が利用された場合、かえって費用がかかる可能性もあり、制度設計は慎重に行うべき
- 緊急に新規に住宅を必要とする人がいても、入居要件（家族、募集の時期、単身では入れない）で対応できない状態をどう克服していくか。
- 県営住宅、市営住宅の違いは何か。
- 会場からの発言時間がなかった。市民ディベーター、専門家、会場からの発言をメリハリを持って求めて欲しかった。
- 最初も最後まで構想日本の話が長い。
- 入場者が思ったより少ない。入居者は案外、それほど危機感を感じていないのであろう。行政側がある程度推し進めていって良いように感じる。
- 改良住宅について譲渡の件が出ましたが、その住民全員がそろわないと難しい面があると思います。有償となった場合、支払えない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。建物については耐用年数にて無償として、今後好きなように使ってもらおうとして土地代を市から住民に有償譲渡とかどうでしょうか。
- 滞納について、民間なら2～3年で契約更新ですが、市営住宅は契約更新はないのでしょうか。古くから住んでいる方は保証人も亡くなっている方もみえるのではないのでしょうか。せめて5年、10年で更新すべきだと思います。そして滞納がある方は更新できないと決めれば滞納も少しは減るのではないのでしょうか。
- 市営住宅に住んでいる人の意見が少ない、その人の声をきちんと聞くこと。
- 高齢化（独居老人の増）、無縁社会といわれる社会の進行の中で住む場所（住所がある）ということは社会的に守られなければならない。住所がないことで就労もできないということにつながるのが、今の世の中である。公的な住むことへの補助がどうあるべきかという視点での議論が必要。
- 事前の資料公開はその他のシンポジウムにも展開してください。
- インターネットによるストリーミング配信も良い。
- 無償譲渡には少しひっかかる、市民への十二分な説明が必要
- 非常に有意義な取り組みだと思う。参考にさせていただきます。
- 民間事業では多種多様な、居住者が長く住んでもらうための手法を考え工夫している。住宅の所有者サイドでとらえず、居住者が持続して入ってもらおうサービスは何か、今後の高齢化社会で心配に思っていることなど、公営でないといけないサービスを付加すれば民間アパートより住みたい、住み続けたいと感じてくるのではないか。今後アパート、マンションの経営手法をもっと学んでより良い管理手法を検討してはどうか。
- 子作り促進住宅を作って人口を増やしていく
- 市民全員が納得いく公平な対応が必要である。市と市民、専門家が公の場で討議会を行うのはとても良いので続けて欲しい。
- 市営住宅の現状がよく分かった。これをスタートにしてみんな考えていければ良いと思う。
- 現実的な問題に対応しながら柔軟性を持って対応することが必要だと思う。多くの人の意見を聞く。
- 住居環境の向上というのは大事なことと感じた。
- 継承問題では行政の行動がない。連帯保証人制度が名義人変更の障がいになっている。